

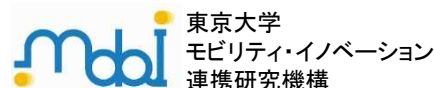
超小型モビリティ関東連絡会議資料

「NNCコンセプト」

～コロナ以降の社会を持続させる新しい移動手段～



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



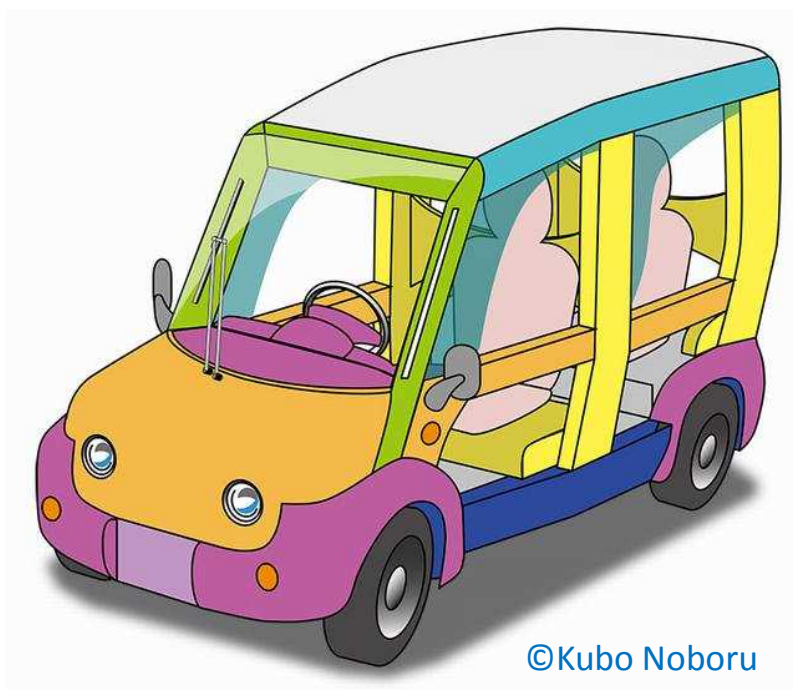
東京大学
モビリティ・イノベーション
連携研究機構



東京大学
生産技術研究所
Institute of Industrial Science,
The University of Tokyo

2020. 10. 27

東京大学 生産技術研究所 須田研究室



©Kubo Noboru

1. 地域ごとの検討会現状
2. 江戸川地区
3. 柏地区
4. 群馬地区
5. 道路移動体の車幅の比較
6. 国民車構想と「第二国民車」

1. 地域ごとの検討会現状

国土交通省 関東運輸局(超小型モビリティ関東連絡会議)

地区ごとの超小型モビリティ検討会活動

(東京都江戸川区)

22世紀江戸川区
産業教育振興協議会
江戸川区役所
「NNC江戸川号」

(千葉県柏地区)

柏ITS推進協議会

東京大学
ITSセンター
(次世代モビリティ研究センター)
UTmobl
(モビリティ・イノベーション
連携研究機構)

(群馬地区)

群馬大学
CRANTS
(次世代モビリティ社会実装
研究センター)
文部科学省Design-i
「ナローモビリティ
グループ」

次世代自動車産業研究会
一般社団法人*NNCモビリティ

(*法人化予定)

リチウムイオンキャパシタと鉛
バッテリーのハイブリッド

2. 江戸川地区：「22世紀江戸川区産業教育振興協議会」&江戸川区役所



江戸川号：旧型コムスに「NNC風」のオールアルミ車体を載せたもの。
(製作期間1カ月)



ママコムス：親子3人乗り状態で
国土交通省超小型モビリティ認定の取得を目指す。

3. 柏地区：東京大学 & 柏ITS推進協議会



東大2人乗り「金さん号・銀さん号」
(旧型コムス改造車)
今年度柏市内での試用・実証実験予定



車両の整備
(車両近接音通報装置)

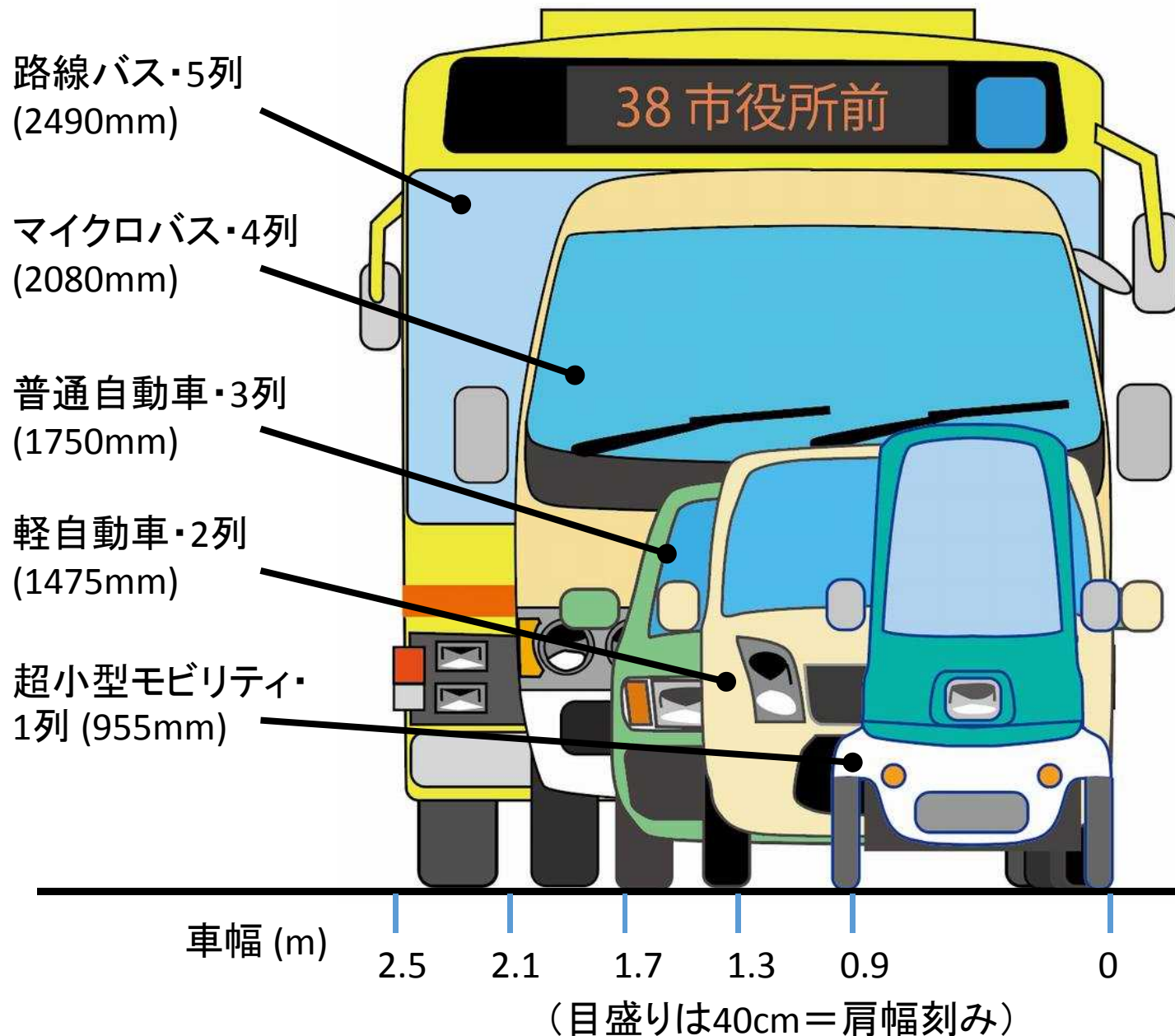
4. 群馬地区：群馬大学(文部科学省Dedign-i研究・桐生市役所)



①②地域住民の方へのナローモビリティ・スローモビリティ試乗会(桐生市内)

③群馬大学ベンチャー「GUDI(グッドアイ)」による超小型モビリティ「Guddy」
1人乗り仕様をミニカー登録・国土交通省超小型モビリティ認定取得(2人乗り)を目指す

5. 道路移動体の車幅の比較



道路移動体の車幅は、人間の肩幅の単位で大きくなる。
(肩幅が並ぶ列数に従って、用途やインフラが事実上規定される)

超小型モビリティは車幅1m程度より大きくなると、2列車(軽自動車)の領域に入るので、用途・インフラとも軽自動車と同等になり、意義が薄れる。

(現行の軽自動車は、かなり普通自動車領域に近い)

6. 国民車構想と「第二国民車」



「国民車構想(国民車育成要綱案)」
(昭和30年5月):これから伸びゆく若い
国を支える本格的自動車

長 幅 高
初の軽自動車規格(昭和24年7月):2.8x1.0x2.0m
360cc軽自動車規格(昭和29年10月):3.0x1.3x2.0m

実質的な国民車第1号 スバル360
(昭和33年5月発売開始)



「第二国民車構想」:豊かに老いる国
の暮らしを楽しむ、国家が社会に
導入する「簡易車両」
(「私企業が利潤を上げるためにある
製品規格」ではありません)